人間生活学研究　投稿規定

Ⅰ．発　　行

1. 本誌は新潟人間生活学会の学会誌であって、原則として年一回発行する。

Ⅱ．受　　理

1. 本誌は人の生活に関わる分野の学術（人間生活学）に関する研究論文または報告（表 1）であって、他の「学術誌等」に公表または投稿されていない論文の投稿を受け付ける（「学術誌等」に該当しない公表・投稿先の例は「責任著者確認書」の記述を参照）。

表1. 投稿論文の種類

種類	内容	査読
1. 研究論文（査読あり） Peer-reviewed Research Article	独創的な研究論文	あり
2. 研究論文（査読なし） Reserach Article	研究論文のうち、査読を求めないもの	なし
3. 報告 Report	研究・調査に関する資料や実践活動等に関する報告	なし

2. 論文の種類は責任著者が指定する。ただし編集委員会から変更を求められる場合がある。
3. 筆頭著者および責任著者は新潟人間生活学会の会員とする。
4. 論文の内容が人間生活学の発展に寄与するものであって、「Ⅲ．執筆要領」に沿って体裁が整っており、直ちに印刷できる状態にある場合に受理する。
5. 採否は編集委員会が決定する。ただし研究論文（査読あり）の採否は査読結果を参考とする。
6. 査読は別に定める「投稿論文の査読に関する内規」に沿って行う。

Ⅲ．執筆要領

1. 原稿は日本語または英語（米国）で記載する。日本語論文の図表は英語で記載しても良い。
2. 原稿一編は 10 ページ程度（14 ページ以内）とする。
3. 研究論文の構成は原則として表 2 の通りとし、**研究論文（査読あり）では ABSTRACT を必須**とする。投稿者の学術分野によってこの構成がなじまない場合には各学術分野の例により記載し、参考とした学術誌を 1 冊、投稿時に添付すること。
4. 報告の構成は指定しないが、研究論文の構成に準ずるのが望ましい。

表2. 研究論文の基本構成

項目	準ずる項目例	内容
要旨		概ね800字以内。
キーワード		6個以内
はじめに	緒言、目的	研究の背景と目的
方法	対象と方法、研究方法	データの収集方法、分析方法、倫理的配慮など
結果	結果と考察	研究等の結果・成績
考察		結果の考察・評価・限界等
結語	結論、おわりに	結果と考察から導き出された結論（考察に含めても良い）
謝辞		研究協力者への謝辞、研究への助成や便宜供与など（該当するものが無い場合は省略）
文献	参考文献	論文中で引用した文献のリスト。
ABSTRACT ※ 研究論文（査読あり）では必須		タイトル、著者、所属、本体、キーワードを英語で記載し、概ね250語程度（400語以内）とする。

Presented by Medical*Online

5. **原稿の基本フォーマット（Microsoft Word 形式）は本学会のホームページからダウンロードする**（http://www.unii.ac.jp/nnsg/）。

基本設定は下記の通り（ダウンロード用の基本フォーマットには設定済み）。ただし**著者の学術分野において基本設定に従うことが不適当な場合には投稿時に編集委員会にその理由を申し出て対応を協議する**（その学術分野では全てまたはほとんどの有力誌が 1 段組であるなど）。

- マージンは上下左右 25mm、フッター（ページ番号）は下端から 10mm に設定する。
- ページ中央下部にページ番号を挿入する。
- ページ設定は、1 行 44 文字×44 行とし、要旨は左右 2 字ずつ字下げ（インテンド）する。本文（表 2 の「はじめに」～「文献」）は 1 行 21 文字×44 行の 2 段組にする。
- 文字列の配置は両端揃えを基本とし、タイトルと著者、および本文中の見出しは中央揃え、副見出しとキーワードは左揃えとする。
- 日本語フォントは明朝体系の等幅フォント（MS 明朝など）、英数字（アルファベットと算用数字）のフォントは Times New Roman を基本とする。ただし、見出しと副見出しは、日本語にはゴシック体系の等幅フォント（MS ゴシックなど）太字、英語には Arial 太字を用いる。
- フォントのサイズは 10pt を基本とし、タイトルは 14pt（太字）、本文中の見出しと ABSTRACT のタイトルは 12pt、タイトルページの脚注は 9pt、図表は任意（見やすいサイズ）とする。
- 著者とキーワードの前後は 1 行空けとし、本文中の見出し（表 2 の「はじめに」～「文献」の前後は 0.5 行空けとする。
- 著者の所属は、著者の右上に数字を付し、タイトルページの脚注欄（テキストボックスで作成）に記載する。また、責任著者の右肩に*マークを付け、脚注の欄にメールアドレスまたは連絡先住所を記載する。
- 利益相反はタイトルページの脚注欄に記入する。利益相反が無い場合は「利益相反：なし」（英語論文では　Conflict of interest: None declared ）と明記する。
- **本文および図表の英数字は半角**で記載する。
- **日本語文の句読点には「、 。」**を用いる。
- 文献番号は引用された順に番号をつけ、引用場所の右肩に 1)、2-3)、1, 3-4)と番号を付す。
- 引用文献の記載方法は下記の通りとする。下記に記載のない出版物については、学術誌での一般的な用法による。記載例は基本フォーマットを参照（http://www.unii.ac.jp/nnsg/）。

（一般原則）

・著者名や編者名は 3 名まで記載し、3 名を超える場合は「、他」「, et al」と記載する。ローマ字表記の名前は、姓、名の頭文字で記載し、頭文字にピリオドは付けない（例：Omomo S）。

・著者名は、日本語など漢字圏の文献では「、」で区切る。英語等ヨーロッパ言語の文献では「, 」で区切り、and は使わない。

・雑誌名は通用されている略語で表記し、通用されている略語がない場合には略さずに表記する。

・ページは略せる部分を略して表記する（例：× 101-119. ○ 101-19）。

・英語原稿に日本語文献名の英訳を記載した場合には最後に (in Japanese)を付記する。

（雑誌の場合）

1) 著者名．表題．雑誌名 発行年（西暦）; 巻: 頁-頁.

2) Author(s). Title. Journal Year; Volume: Page-Page.

Presented by Medical*Online

（単行本の場合）

3) 著者名．表題．編者名、編．書名．発行所所在地：出版社、発行年（西暦）；ページ.
4) Author (s). Title. In: Editor(s), editor(s). Book name. Place of publication: Publisher; Year: Page-Page.

注：引用する章の著者名や表題が明確ではない場合は省略可。

（ウェブサイトの場合）

5) 著者名．資料名．URL （参照　****年**月**日）
6) Author(s). Title. URL (Accessed month day, year)

- ABSTRACT の前は 2 行空ける。
- ABSTRACT はタイトル(Times New Roman 12Ppt)、名前(Times New Roman 10pt)、所属と責任著者連絡先(Times New Roman 10pt)、本体(概ね 250 前後、400 語以内。Times New Roman 10pt)、キーワード(見出しは Arial 10pt 太字、キーワードは Times New Roman 10pt)の順に記載し、タイトル、名前、所属と責任著者連絡先、キーワードの前後は 1 行空ける。
- **英語原稿や、日本語原稿の ABSTRACT は著者の責任においてネイティブ・スピーカーのチェックを受ける**。

6. 研究における倫理的配慮については、「方法（あるいはそれに準ずる）」の項目において必ず下記のいずれかの記載を行う。

- 倫理委員会等の審査（動物実験を含む）を受けて承認された研究は、その旨と承認機関の名称、承認番号等を記載する
- 倫理的配慮等について準拠する指針がある場合は、その指針（厚生労働省が策定した医学研究に関する指針、研究者の所属機関の倫理指針、研究者が所属する職能団体の倫理指針など）の名称を記載する
- 倫理委員会等の審査が不要である場合は、その理由について記載する

Ⅳ．投　　稿

1. 投稿に必要な**様式は学会のホームページからダウンロード**する（http://www.unii.ac.jp/nnsg/）。
2. **打ち出し原稿 2 部**および**添付書類一式**（表紙、責任著者確認書、著作権委譲・利益相反申告書の必要事項を記載したもの、左上綴じ）を封筒に入れて投稿する。本学会における著作権の取り扱いについては別途記載ページを参照のこと。なお別刷りは論文一編あたり 50 部無料、それ以上必要な場合は有料になる（印刷業者と相談）。
3. **打ち出し原稿と添付書類一式は学会役員に提出するか編集委員長宛に郵送**する。
4. 併せて、**原稿と添付書類表紙の電子ファイルを学会までメール**送信する。
（郵送先とメールアドレスは投稿規定末尾に記載）。
5. 原稿の電子ファイルは Microsoft Word 文書の他、文字化けを防ぐため PDF 形式を添付するのが望ましい。

Ⅴ．校　　正

1. 校正は著者の責任において、初稿、再校を原則とする。

Presented by Medical*Online

2. 校正は原則として原稿または印刷の誤りによる語句の訂正にとどめ、大幅な加筆・修正は認めない。

附則：本規定は令和 2 年 4 月から施行する。

原稿の郵送先：　〒950-8680　新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 471
新潟県立大学人間生活学部
人間生活学研究編集委員長

原稿電子ファイル送信先：nnsg@unii.ac.jp

Presented by Medical*Online

人間生活学研究原稿の基本フォーマット

タイトル 明朝 14pt、中央揃え

人間太郎[1]*、生活花子[2]、名前欄は中央揃え、明朝 12pt、上下に 1 行開ける

要旨は概ね 800 字以内で記載する。ページ設定は 44 字×44 行。要旨とキーワードは両端揃え左右 2 字ずつ文字下げ（インテンド）。構造化抄録（目的、方法などの見出しが入る抄録）の場合は見出しの前で改行し、左揃え。非構造化抄録（見出しが入らない抄録）の場合は、文頭および各段落の冒頭を 1 字下げする。要旨の見出しはゴシック 10pt 太字、文章は明朝 10pt。いずれも等幅フォントを用いる。ただし文中の英数字（アルファベットと算用数字）は半角で記載し、Times New Roman に設定する。日本文の句読点は「、。」とする（本文も同様）。英語論文の場合、原稿全体にわたってフォントは明朝を Times New Roman に、ゴシックを Arial に読み替える。

キーワード： 上下に 1 行空ける、6 個以内、読点で区切る

はじめに

本文セクションは 2 段組 21 字×44 行に設定。

本文の見出しは中央揃え、ゴシック 12pt、上下は段落設定により半行ずつ開ける。

本文の文章は両端揃え、日本語は明朝 10pt、英数字は半角で Times New Roman。

文献番号は引用した順番につける。引用場所の右肩に[1)]、[2-3)]、[1, 3-4)]と番号を付す。

方法

統計学的分析

副見出しはゴシック 10pt 太字で左揃え。

なお統計学的分析を行った研究では、副出しをつけて記載するのが望ましい。

結果

図表は英語でも良い。

図中の文字フォントは指定しないが、図のタイトルや説明は明朝（英数字は Times New Roman）とする。

表は明朝体と Times New Roman を基本とする。

考察

「結果と考察」とすることが一般的な研究分野では両者をまとめても良い。

結語

結果と考察を踏まえて得られた論文の結論を記載する。結語に相当する段落を考察の最後に記載した場合、本セクションは省略可。

謝辞

研究への協力や、助成金、資料等の提供があった場合に記載する。該当するものがなければ省略。

文献

1) 佐藤恵美子、中野恵利子、筒井和美．ゴマ豆腐の破断特性およびテクスチャーに及ぼす澱粉の種類の影響．人間生活学研究 2010; 1: 1-10.

[1] 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 [2] 新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科

* 責任著者 連絡先：nnsg@unii.ac.jp

利益相反：なし

注：脚注の下端は余白に合わせ、行数が足りない場合はテキストボックスを上に拡げること。この注釈ボックスは削除すること。

Presented by Medical*Online

2) 伊藤巨志、大橋信行、木村博人、他．高等教育機関におけるスキー・スノーボード実習地の満足度調査．人間生活学研究 2011; 2: 47-58.
3) Ozawa K, Koike Y, Ishimoto K, et al. The learning support for the junior high school students in low-income households. A study on the learning support program in Higashi-ku, Niigata City. The Bulletin of Society for Human Life Studies 2012; 3: 111-27. (in Japanese)
4) Tanabe N, Suzuki H, Aizawa Y, et al. Consumption of green and roasted teas and the risk of stroke incidence: results from the Tokamachi-Nakasato cohort study in Japan. Int J Epidemiol. 2008; 37: 1030-40.
4) 人間の発達とその理解. 大桃伸一、宮西邦夫、太田亜里美、他編．人間生活学へのいざない～豊かなヒューマンライフの創造をめざして～．東京：文化書房博文社、2014; 155-60.
6) White KL. Health Services research and epidemiology. In: Holland WW, Olsen J, Florey CV, editors. The development of modern epidemiology: Personal reports from those who are there. Oxford: Oxford University Press, 2007; 183-96.
7) 厚生労働省．平成 24 年　国民健康・栄養調査結果の概要．http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10904750-Kenkoukyoku-Gantaisakukenkouzoushinka/0000032813.pdf.（参照 2014 年 9 月 4 日）.
8) World Health Organization. BMI Classification. http://apps.who.int/bmi/index.jsp?introPage=intro_3.html (Accessed Sept. 4, 2014).

注：文献の記載様式は投稿規定参照。ここには記載例を示した。

ABSTRACT

Basic formatting for a manuscript of the Bulletin of Society for Human Life Studies

Taro Ningen[1*], Hanako Seikatsu[2]

[1] Department of Child Studies, Faculty of Human Life Studies, University of Niigata Prefecture
[2] Department of Health and Nutrition, Faculty of Human Life Studies, University of Niigata Prefecture
* Correspondence, nnsg@unii.ac.jp

ABSTRACT は「研究論文（査読つき）」では必須とし、「研究論文（査読なし）」および「報告」では著者の選択に委ねる。Text（ABSTRACT 本体）は概ね 250 語程度（400 語以内）。構造化抄録（Objective, Methods などの見出しが入る抄録）の場合は見出しの前で改行し、左揃え。非構造化抄録（見出しが入らない抄録）の場合は、文頭および各段落の冒頭を字下げする。米国英語を使用し、著者の責任においてネイティブスピーカーのチェックを受ける。フォントは Times New Roman, フォントサイズはタイトル 12Pt, 著者名・所属・本体 10Pt.、所属番号は右肩上付きとする。構造化抄録（**Objective**, **Methods** などの見出し）の場合は見出しの前で改行し、Arial 10pt 太字、左揃え。非構造化抄録（見出しが入らない）の場合は文頭と各段落の冒頭を字下げする。Key Words のタイトルは Arial 10pt 太字、左揃え。

Key Words: 6 個以内, カンマで区切る

Presented by Medical*Online

人間生活学研究（学会誌）

投稿原稿添付書類表紙

<table>
<tr><td colspan="2">論文の種類（希望に〇）</td><td colspan="3">研究論文（査読あり）　研究論文（査読なし）　　報告</td></tr>
<tr><td colspan="2">表題</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">英文表題</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">著者名／所属
（日本語）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">著者名／所属
（英語）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>原稿の枚数</td><td></td><td rowspan="3">投稿年月日
令和　年　月　日
（西暦　　年）</td><td rowspan="3" colspan="2">別刷り申し込み部数

部</td></tr>
<tr><td>要旨の字数</td><td>字</td></tr>
<tr><td>ABSTRACT 本体の語数</td><td>words</td></tr>
<tr><td colspan="5">備考：</td></tr>
</table>

Presented by Medical*Online

責任著者確認書

論文名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本論文に責任を持つ著者一名は下記のうち該当する項目にチェックを付けて署名し、「著作権委譲・利益相反申告書（全著者用）」の全著者分を添えて原稿とともに編集委員会に提出して下さい。

□ 本論文の記載内容について責任を持ちます。

□ 本論文の内容は既に「学術誌等」に公表または投稿されていません。

付記：・学会発表抄録、学会発表の記録、報告書、商業誌からの依頼原稿（原著とならないもの）、著書、報道などについては結果や図表の一部が本論文と重複していても差し支えない。

・学術誌等に該当するか判断に迷う場合は下記に記載し、編集委員会の確認を得ること。

公表・投稿先

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本論文の著者に記載した者以外に本論文の作成に主要な貢献をした研究者はいますか？（「作成」には全著者用チェックリストのⅠに該当する項目全てを含みます。）

□いません

□いますが、謝辞に記載することで承諾を得ました。

□いますが、論文に掲載しないことについて承諾を得ました。

付記：卒業研究等で学生が関与した場合には原則として共著者に入れることが望ましい。

（下記に所属等と氏名を記載して下さい。欄が足りない場合は裏面に記載して下さい。）

承諾者の所属等・氏名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私（氏名：楷書または印刷）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は上記について確認しました。

日付

署名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Presented by Medical*Online

著作権委譲・利益相反申告書（全著者用）

論文名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

全ての著者は下記の該当項目にチェックし、署名して責任著者に提出して下さい。
（1人1枚提出してください。Faxや電子メール添付のスキャン画像でも結構です。）
（記載スペースが不足する場合は裏面や別紙に記載し、別紙の場合には別紙にも署名して下さい。）

Ⅰ．本論文の作成において貢献したこと全てにチェックしてください。
（複数人が同一項目にチェックしても差し支えありません。）

□研究の着想　□研究計画作成　□データの収集　□研究の指導
□統計学的分析　□結果の解釈　□原稿の執筆（作図・作表を含む）
□原稿の校閲・改訂への貢献　□資金や物品の調達

Ⅱ．本研究の結果により利益を受ける団体・個人と何らかの利害関係がありますか？
（利害関係には資金援助、物品の供与、人的援助などを受けたこと、株や債権を保有していること、団体構成員との家族関係、および、本論文の論述に影響を与え得るその他の関係を含む。ただし公的機関［行政、独立行政法人、大学など］や本論文によって営利的利益を受けない団体等からの研究助成はこれに含まない。）

□ある　□ない　（疑問がある場合には編集委員会に問い合わせること）

利害関係がある場合は関係先、および、その内容を下記に記載し、論文の最後にも「利益相反」のセクションを立てて記載して下さい。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ⅲ．本論文の著作権を本学会誌に委譲しますか？

□する（リポジトリにも登録されます。）　□できない理由がある。（理由を下記に記載して下さい。）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私（氏名：楷書または印刷）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は上記について確認しました。

日付

署名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Presented by Medical*Online

本学会における著作権の取り扱いについて

本学会では論文等の学会誌への掲載にあたり、全著者に対して著作権の委譲を求めています。その理由は大きく下記の 4 点に集約されます。

1）学会誌への掲載やオンライン公開にあたって、内容の変更を伴わないレイアウト等の修正が必要となった場合に、著者へ確認を求める手続きを省く。

2）新潟県立大学学術リポジトリや種々の検索サービス等において論文が公開される場合に、著者へ の確認なしに学会で公開の可否を判断できるようにする。

3）本誌や他誌のレビュー論文等において図表の引用が求められた場合に、学会において判断を行えるようにする。

4）その他、現在想定していない目的のために著作権の行使が必要となった場合に、学会での対応を可能にする。

本学会では本誌掲載論文が広く公開されて活用されることを望んでいます。委譲された著作権はその目的のために使用されるものであり、下記のような行為を制限する物ではありません。

・印刷された論文の複写物やリポジトリ等で公開された電子ファイルを、非営利的な研究紹介のために配付する。

・著者が所属機関のリポジトリ等で公開する。

・著者が研究報告書等に論文の全体または一部を引用する(引用先における二重投稿の規定に抵触しない場合に限る)。

本学会が保持する著作権は学会誌やリポジトリにおいて学会が公開する著作物についてのみであり、著作の基となったデータについては全ての権利が著者に保持されます。よって、本誌に掲載された集計結果を異なる形で著者が作図・作表して公表することについては、公表先の二重投稿規定に反しない限り、これを妨げるものではありません。

以上のような事情をご勘案いただき、投稿においては著作権を学会に委譲していただきたく、著者諸氏のご配慮をお願いいたします。また、本学会では本誌の掲載論文を積極的に公開してまいりたいと考えており、著者諸氏におかれましても、掲載論文の積極的なご活用をお願いいたします。

Presented by Medical*Online

投稿論文の査読に関する内規

本内規は、「人間生活学研究」投稿要領に基づいて、投稿された研究論文の原稿の査読に関する審査内規として定める。

第１条　編集委員会は、新潟人間生活学会員と外部の人間生活学研究に携わる者の中から投稿論文を審査するにふさわしい者を複数名選出する。

第２条　編集委員長は、投稿論文の審査にあたり審査者として推薦された者に、審査依頼する。

第３条　各論文は審査者により審査される。

第４条　審査の基準は、次の４段階に評価される。

「採択」

「条件付き採択」

「要再審査」

「不採択」

第５条　審査者は、上記の評価とともに、審査論文の不備・指摘点を記述し、期日内に編集委員会に提出する。

第６条　編集委員会は、審査結果をふまえ論文の掲載を決定する。なお、「条件付き採択」と評価された論文は、修正稿の確認を審査者に依頼する場合がある。「要再審査」と評価された論文は、審査者に再審査を依頼する。投稿者に審査者の指摘点が記述された審査用紙を配布し、投稿者は期日までに修正し再度提出する。その際、指摘点をどのように修正したか各指摘に対する対応の一覧を作成し、論文とともに提出する。

第７条　編集委員長は、対応の一覧を添付し修正論文の再審査を審査者に依頼をする。

第８条　編集委員会は、再審査の結果をふまえ、掲載を決定する。

付則　１．審査規定の改定は、編集委員会の議を経て新潟人間生活学会総会において決議される。

２．本規定は 2015 年 5 月 1 日より実施する。

Presented by Medical*Online